



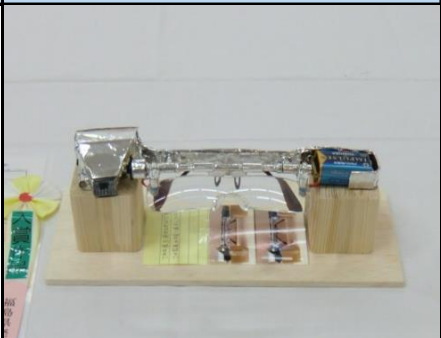






# 第67回福島県発明展

## 受賞作品一覧


(敬称略)





No.	受賞名	作品	作品名 出品者	作品概要
1	福島県知事賞		<b>『高齢ドライバー 暴走事故防止、運転 姿勢矯正パッド』</b>  郡山市 株式会社クリーン ネット	多くの高齢ドライ バーの運転姿勢は、右 膝が右側に曲がり右足 先がブレーキペダルか ら離れた運転姿勢とな る。その姿勢を矯正す るパッド。
2	福島県知事賞		<b>『これで安心、部屋 の出入り』</b>  磐城高等芸術商科総 合学園 クラーク記念 国際高校 いわきキャン パス 3年 佐藤 創宇	二酸化塩素は、沸点 が低いため、他の一般 的な殺菌剤と異なりあ らゆる状況と用途に対 応することが可能。世 界で認められた安定化 二酸化塩素による除 菌・消毒を考案した。
3	福島県知事賞		<b>『ラクラクレバー』</b>  福島市立平野小学 校 5年 木村 優介	高齢者や物を持って いる時にドアに取り付 けてひじで押して楽に 開けられるレバー。
4	東北経済産業局長賞		<b>『渡部のボイラー (ミニ)』</b>  相馬市立中村第一 小学校 5年 渡部 葵空	電気がなくてもお湯 を作る方法を考案。タ ンク(ペットボトル)に 水を入れ、金属のフレ キホースを熱してふた で水量を調節しながら お湯を沸かす。
5	一般社団法人福島 県発明協会会長賞		<b>『沖ヒシ回収器具』</b>  郡山市 中村 玄正 藤田 豊	猪苗代湖では、水質 汚濁の要因となる大量 のヒシが繁茂する。秋 季に枯死する前に回収 除去する必要がある。 水面に浮いたヒシを ネットで囲って湖岸に 引き寄せ回収する。





No.	受賞名	作品	作品名 出品者	作品概要
6	一般社団法人福島県発明協会会長賞		『未来のルーペ』 福島市立北信中学校 2年 佐藤 琉碧	距離センサーでレンズから対象物までの距離を測定し、焦点距離の範囲内ではレンズが下がり、範囲外ではレンズが上がるようサーボモーターでレンズを移動する。
7	一般社団法人福島県発明協会会長賞		『つまんで カットピンセット』 相馬市立桜丘小学校 5年 伊東 季沙	くつ下に付いているタグを切った時、布地まで切って穴が開いた。取りたいタグをピンセットでつまみ、そのままスライドさせてタグをカットする。
8	国立研究開発法人産業技術総合研究所 ふくしま再生可能エネルギー研究所長賞		『とことん使い切り』 二本松市 鹿糠 國光	1.5Vの乾電池は1.0Vになると使用できなくなる。使用済み電池を3本で3.0V以上あれば、他の使用済み電池を10時間ほどで充電できる装置を作成した。
9	国立研究開発法人産業技術総合研究所 ふくしま再生可能エネルギー研究所長賞		『フィジカルディスタンス補助装置』 桜の聖母学院高等学校 1年 佐藤 優衣	目の不自由な人が列に並ぶとき、直前に並んでいる人の方向と距離を、赤外線レイセンサーと超音波センサーを用いて測定し、測定値を音声合成の声で伝える。
10	国立研究開発法人産業技術総合研究所 ふくしま再生可能エネルギー研究所長賞		『rとりこみ らくらくハンガー』 南相馬市立原町第三小学校 2年 白瀬 乃々佳	洗濯物を1つ1つ外すのが大へんだったので、間にビーズを入れて洗濯ばさみが全部開くようにした。

No.	受賞名	作品	作品名 出品者	作品概要
11	福島県教育委員会 教育長賞		『倒れない植木鉢』 いわき市立豊間中 学校 1年 鈴木 陽菜	風が吹くと植木鉢が倒れて花が傷ついてしまう。植木鉢を2つ組み合わせて、下を広げて安定した構造にした。
12	福島県教育委員会 教育長賞		『全部手づくり・組み換えピタゴラ木琴』 福島市立金谷川小 学校 6年 長南 晴矢	木琴を階段状にして木球を転がすだけで演奏ができる。鍵盤の順番を変えると様々な曲を演奏できる。
13	公益社団法人発明 協会会長奨励賞		『メダカのエサやり機』 喜多方市立加納小 学校 3年 齋藤 悠	時計の短針が12時間で1回転するのを利用し、短針にペットボトルのふたと耳かきで腕を作った。小さな入れ物にエサを入れて、腕が入れ物を水槽に落とすようにした。
14	日本弁理士会 会長奨励賞		『まっ穴開いた』 会津若松市立城西 小学校 6年 大竹 花奈	切った時に素材がまな板からはみ出したり、切った物を洗う時や水切りにザルを使うと洗い物が増える。まな板とザルを一緒につけて落ちないようにスポンジで壁を作った。
15	福島県工業クラブ 会長賞		『有害鳥獣撃退装置「電水丸2」』 南会津町 湯田 哲	電気伝導性液体が対象物に到着し、高電圧装置により電気ショックが伝わり、有害鳥獣の追い払いや威嚇をする。電気ショックにより動きをにぶらせ捕獲も可能とする。

No.	受賞名	作品	作品名 出品者	作品概要
16	公益財団法人福島 県産業振興セン ター理事長賞		『コロナ対策 これ で安心「授業が良く 聞こえる君」』  埴町 大竹 伸	マスクの内側にマイクを取り付けたことで、直接声が鮮明ではっきりとした音声で拡大される。マスクの種類を問わず、マスクフレームがあることで呼吸もしやすい。
17	公益財団法人福島 県産業振興セン ター理事長賞		『ぺったんネーム』  相馬市立中村第一 中学校 3年 篠山 明希	長ぐつの上に、磁石の付いたネームタグを挟む。タグどうしがぺったんとくっつく。磁石の力で履いたり脱いだりしても取れない。
18	公益財団法人福島 県産業振興セン ター理事長賞		『アッタカップin防 水ズキンB a g』  喜多方市立第二小 学校 5年 安部 ひまり	防水布で防災ズキンを作った。チャックをつけてバッグにもなるようにした。雨や雪での避難を考え、暖かいようにひざ掛けを中に取り付けてカップにした。
19	日刊工業新聞 社長賞		『てすり付上着』  郡山市 アブクマソーイン グ有限公司	足等が不自由な方を立たせたり歩行させたりする時に、要介護者が捉まることが出来る物を、介護者の着用するベストに付けた。
20	毎日新聞社賞		『カップメンブ タ！！』  天栄村立広戸小学 校 3年 熊田 明珠	カップラーメンを止めるシールがなくなっていることを知り作った。カップメンブタをカップラーメンの縁に付けて、あつまったらとる。

No.	受賞名	作品	作品名 出品者	作品概要
21	福島民報社長賞		『↑↓(じょうげ) オッケーミラー』 福島市立杉妻小学校 5年 柏倉 煌成	上下の鏡の間に頭を入れて下の鏡をのぞくと頭の上が見え、上の鏡をのぞくとあごの下が見える鏡を作った。
22	福島民友新聞社長賞		『おいしく食べれる つけ物容器』 南相馬市立原町第三小学校 6年 佐伯 瑛心	つけ物と汁を容器に入れると、汁が切れておいしくなる。冷蔵庫に入れるときは、上下反対にすると、汁がつけ物の方に落ちてきてパサパサにならない。
23	ラジオ福島社長賞		『手が不自由でも洗えるよ』 会津若松市立城西小学校 3年 山口 斗聖	背中を洗うのに苦労しているのを見て、片方は楽に握れるように生地を厚くして、片方は紐をつけてひっぱれるようにした。力がなくても布を掴むことができる。
24	ふくしまFM社長賞		『草の土取り機』 川俣町立飯坂小学校 6年 阿部 誠真	むしった草を上部の容器に入れそのまま全体をふる。土は網で草から離れ、下部の容器から落ちる。草は網で止まって上部の容器にたまったままで、容器から取り出し処理す
25	福島テレビ社長賞		『楽々コンパスくん』 郡山市立芳山小学校 4年 古川 峻	定規テープの1cm間隔にあけてある穴にコンパスのシャーペン部分を差し込むことで定規で測ることなく簡単に円をかくことができる。

No.	受賞名	作品	作品名 出品者	作品概要
26	福島中央テレビ 社長賞		『 <b>車用傘入れ</b> 』 白河市立白河中央 中学校 2年 池田 美桜	ワイヤを背もたれに 掛けて傘を入れる。傘 から出た水は下のペッ トボトルのキャップを 外して出す。掛ける部 分をワイヤにすること で、どんな車にも対応 できる。
27	福島放送社長賞		『 <b>濡れまてん</b> 』 福島県立郡山商業 高等学校 3年 佐藤 ひなせ	濡れた手でも安心して キッチンペーパーを取 ることができる。磁石 で冷蔵庫に付けること ができる。PPシート が次のキッチンペー パーを守ってくれるの で濡れた手でも安心。
28	テレビユー福島 社長賞		『 <b>マスクちょいかけ バッジ</b> 』 喜多方市立松山小 学校 5年 蓮沼 廉士	服やカバンなどの 好きなところにバッジ を付けて、食事や歯磨 きの時などマスクを外 す時に、磁石をバッジ から離してマスクをゴ ムに通してからバッジ に付けると落ちない。
29	奨励賞		『 <b>飛ばないくん</b> 』 郡山市 株式会社 アークエンゼル	形状はひし形で中空 とし、多数の穴が開い ており、ハンガーを掛 けた際、風でぶつかり 落ちることを防ぐこと ができる。
30	奨励賞		『 <b>最後の一枚まで きれいとれるティッ シュ箱</b> 』 会津若松市立川南 小学校 6年 八島 寧音	ティッシュを使い少 なくなると、おもりで 本体上部が下がるの で、最後までティッ シュがとりやすい。

No.	受賞名	作品	作品名 出品者	作品概要
31	奨励賞		『ハンガーストックカー』 白河市立白河第三小学校 6年 尾股 凛	ネットの部分にハンガーを通していくとハンガーがバラバラにならず収納できる。キャスターがついているので移動が便利。使う時は1本ずつとれる。
32	奨励賞		『片手でできるもん!!!』 南相馬市立原町第二小学校 6年 渡邊 太翔	中心のでっばりの切れ目に薬袋をはさむと、片手だけではさみを使って薬袋を切ることができる。はさみや眼鏡など必要な物を周りの部分に収納することができる。
33	奨励賞		『電球取り替え棒』 白河市立白河第二中学校 1年 安澤 寧々	天井の高さに合わせて長さを調整できる。電球の受ける部分は滑り止めを付けて交換の時に電球が回らないようにした。楽に安全に電球の交換ができる。
34	奨励賞		『とれ～る・とれ～る・抜き取れ～る』 塙町立塙中学校 2年 大友 結愛	ビニール袋が破れず1枚ずつ取り出せるように、2つの穴に棒を通すことで、袋の偏りがなく1枚ずつ取り出せる。ヒモをつるし、下からビニール袋を引き抜いて取り出す。

### 学 校 賞

賞名	発明奨励賞
学校名	福島県立郡山商業高等学校
学校名	天栄村立広戸小学校
賞名	青少年発明奨励賞
学校名	福島県立郡山商業高等学校
学校名	天栄村立広戸小学校